

令和4年2月23日

厚生労働省 医政局長
伊原 和人 殿

一般社団法人日本糖尿病学会
理事長 植木 浩二郎
公益社団法人日本糖尿病協会
理事長 清野 裕

オゼンピック皮下注 SD の出荷調整および出荷停止に対して
2 型糖尿病患者への安定供給確保のための要望書

持続性 GLP-1 受容体作動薬「オゼンピック皮下注 0.25mg SD、0.5mg SD、1.0mg SD」製造会社による同製品の製造と輸出一時停止のため、ノボノルディスクファーマ株式会社（以下ノボ社）から出荷調整および出荷停止が発生する見込みとの報告が 2022 年 2 月 14 日に発表され、日本糖尿病学会（以下学会）ならびに日本糖尿病協会（以下協会）は糖尿病診療に従事する医療関係者に対し、安定供給が確保されるまでの間、オゼンピックを新規に処方しないように、特に欠品を見越した大量処方決してしないように呼びかけています。しかしながら、ノボ社による発表から 3 日後の時点で、すでに新宿区内の複数の特定機能病院ならびに周囲の調剤薬局において、オゼンピックの在庫が払底し、かつ納入の見通しが不透明で、2 型糖尿病患者の適切な治療継続が危ぶまれる状況です。

かねてより学会および協会は、GLP-1 受容体作動薬の美容・痩身・ダイエット等を目的とした適応外使用は認められていないことの周知に努めてきましたが、地域的な在庫逼迫の背景には、美容等自費診療クリニックの当該薬剤の大量確保や、医薬品卸売会社等の流通過程における不適切な出荷の偏りの疑いが払拭できません。

この傾向が全国的に拡大した場合、糖尿病患者が大きな不利益を被ることになりますので、御省におかれましては、2 型糖尿病治療以外の診療用途に当該薬剤が用いられることのないように、医薬品卸売会社等の流通関係者に御指導をお願い申し上げます。

以上